

第1回 【がん治療における心のケア】 ～困難事例への丸田俊彦先生によるスーパービジョンからの展開～

開催日/会場/協賛：2010年6月13日(日) / 学研ビル(東京・五反田) / アストラゼネカ株式会社
講師：丸田俊彦先生(メイヨ・クリニック医科大学 精神神経科名誉教授、NPO 法人キャンサーリボンズ理事)
田中登美先生(大阪府立大学看護学部講師 がん看護専門看護師、NPO 法人キャンサーリボンズ委員)

事例検討「看護師が提示する困難事例に対するスーパービジョン」

講師：丸田俊彦先生

スーパービジョン：精神医学などの分野で、熟練した指導者(スーパーバイザー)が事例の担当者に、示唆や助言を与えながら行なう教育のこと

がん患者さんの心のケアが特に求められた三つの困難事例(末期がんでうつ症状がある患者さんが看護師によるサポートを拒否した事例、娘に障害があることで面会が叶いにくいことと、大きな不安と恐怖が重なり感情が抑えられなかった母親の事例、精神疾患の既往があることもあり治療選択ができず、そのことでさらに追い詰められてしまった乳がん患者さんの事例)について、丸田先生と一緒に振り返りました。フロアからも発言があり、気づきが促され理解を深めるポイントを全員で共有しました。



[事例提供]

- ・金田玲奈先生(聖マリアンナ医科大学附属研究所プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック看護師)
- ・渚るみ子先生(独立行政法人国立病院機構京都医療センター 副看護師長)
- ・田中優子先生(独立行政法人国立がん研究センター東病院 副看護師長(支持療法チーム専従看護師) がん看護専門看護師)

講演「がん治療における心のケア～事例検討を出発点として展開～

講師：丸田俊彦先生

臨床場面において、看護師は患者さんとどう関わればよいか、サイコオンコロジー的視点からのお話でした。

「患者さんとの旅路は、その日の天候によって行く先の分からない“気球の旅”のようで、どこに行くか分からないことを楽しむことが大切」との、心のケアについてのキーワードもいただきました。

